

ヴィラ湖水苑



九月十三日に、ヴィラ湖水苑において、敬老会を行いました。いつも楽しみにしておられる料理の一つに、飯南町赤名の『ミセスロビンフット』の葉膳料理があります。そこで今年も、そのご主人に頼み、お野菜たっぷりのからだに優しいお弁当を作ってもらいました。「まごわやさしい」、この言葉通りのとても食べやすいお弁当でした。皆さんとても喜ばれて完食される方が多かったです。日々、共に過ごし楽しい日々をこのお弁当と共に祝うことができ、本当に幸せなことだと思います。入居者様からも、お礼の言葉をいただき、私たちも嬉しい一日でした。

敬老イベント

特別養護老人ホーム湖水苑



九月十五日に、特別養護老人ホーム湖水苑において、新百歳の入居者様へ馬庭理事長から記念品の贈呈を行いました。この方は大正十一年生まれで、戦争を経験され真面目に生きて来られたそうです。これから長生きで楽しい湖水苑での生活を送って頂けるよう、お手伝いしていきたいと思えます。おめでとうございます。

また、各ユニットごとに敬老の日のお祝いを行い、楽しい催しが行われました。ささやかではありますが、長寿のお祝いにユニットからプレゼントをさせて頂きました。コロナ禍も吹き飛ばすような楽しいイベントになりました。



壽光会だより

〒699-0811
出雲市湖陵町
差海 318-1
tel 0853-43-8955
fax 0853-43-0995



グループホーム湖水苑



九月十八日に、グループホーム湖水苑において、敬老会を行いました。人生の大先輩を敬い、感謝の気持ちとともに長寿のお祝いをし、ささやかながら皆様へプレゼントをお渡ししました。職員で考えた敬老会の催し物に、入居者様の笑顔がたくさん見られた素敵な会となりました。

ケアサポート相生



九月十三日～十六日に、敬老会を開催しました。職員手作りの小物入れに靴下を入れて、プレゼントしました。手作りのお祝膳や着物を着て点てるお抹茶会、そして職員による出し物として、『よさこいや銭太鼓』『マジックショー』『獅子舞の登場』など日替わりで披露しました。利用者様の民謡に合わせて銭太鼓をしたりと、笑いの絶えない心温まる敬老会となりました。



今年度もコロナ感染予防のため、残念ながら法人全体での止となりました。代替えとして、各事業所や各ユニットごとに、趣向をこらした敬老イベントを開催しました。

今年度は、

喜寿	三名
米寿	十名
白寿	四名
百寿	四名
新百歳	四名
百歳以上	二名
念品を贈呈させていただきます。	一名

九月十九日には、お祝いメニューを召し上がっていただきました。

壽光会初の男性育児休暇取得



このたび、法人内で初めて、男性育児休暇取得者が誕生しました。取得したのは、山根英朗介護職員です。妻の負担を減らすことと、そして何よりも、父親として育児をするために取得しました。嬉しいことに上の子もお父さんになってくれました。今後法人内で、さらには地域・社会全体で男性の育休取得者が増えていくことを期待しています。

求める人物像

- お年寄りや子どもが好きな方
- 笑顔が素敵な方
- 向上心が旺盛な方
- 何事にも前向きな方
- お話が好きな方

この中のどれか1つでも当てはまれば
応募可能です
職員募集中

新入職員紹介



小林 幸子
ヴィラ湖水苑
看護師

大矢 由美子
特別養護老人ホーム
看護師

24時間テレビチャリティ委員会様より空気清浄機受贈



このたび、特別養護老人ホーム湖水苑において、公益社団法人24時間テレビチャリティ委員会様より新型コロナウイルス感染症対策支援として『空気清浄機』を寄贈していただきました。まだまだコロナ感染の終息が見通せない状況ではありますが、感染対策につとめながら社会福祉法人としての使命を果たしていきたいです。ありがとうございます。

あいおいニッセイ同和損保島根様よりバールマーク受贈



9月26日に、あいおいニッセイ同和損保島根支社様より、社内で集めた約15,000点を保育園に寄贈していただきました。五十嵐支店長から須谷保護者会長に目録が渡されました。子どもたちの保育活動の充実に役立たせていただきたいと思います。大変ありがとうございました。

また、いなさ園様・みせんの里様・グループホーム大社様・長浜和光園様・もくれん湖陵様・トリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校様・出雲西高校様には、常設の収集箱を置いていただきまして感謝致します。

優良勤労者表彰



9月1日に、須山明子介護職員が、高齢・障害・求職者支援機構より、優秀勤労者表彰を受けました。平成18年に採用以降、本人の人柄や仕事に対する誠実さが評価されました。時々、肩が痛くなることもありますが、自分の身体のメンテナンスをしながら仕事に取り組んでいるそうです。彼女の採用を契機に、法人での障がい者雇用が進み、令和4年9月末現在、法人の法定雇用率の2倍を超える5.12%です。

社会福祉法人 壽光会 湖水苑本部
TEL0853-43-8955 FAX0853-43-0995

〒699-0811 出雲市湖陵町差海318番地1
ホームページ <http://jukokai.jp/>



*特別養護老人ホーム湖水苑 TEL43-8955
*グループホーム湖水苑 TEL43-0032
*たいしゃ保育園 TEL53-2423

*ケアサポート相生 TEL24-7733
*サービス付き高齢者向け住宅ヴィラ湖水苑 TEL43-3950

たいしゃ保育園

幼児安全法講習会



8月10日に、日本赤十字社島根県支部の河野さん・清水さんを講師として『幼児安全法短期講習』を開催しました。従来の救命救急の講習会では成人が対象になりますが、この講習は乳幼児期に起こりやすい事故の予防とその手当、かかりやすい病気と発熱・けいれんなどの症状に対する手当などの知識や技術の取得を目標としております。たいしゃ保育園は令和3年度に青少年赤十字（JRC）に加盟したこともあり、乳幼児安全法は初開催となりました。

ヤマメのつかみどり



9月14日に、ぞう組が飯南町にある『志都の里やまめの溪』にやまめのつかみどりに出かけました。暑い中冷たいやまめの池に入り、「キャー！すごい！」と歓声を上げて、やまめを追いかけました。取ったやまめはその場で塩焼きにさせていただき、おいしく食べました。「お魚は苦手だけど、やまめはおいしい。」と、ほとんどの子が頭から残さずにいただきました。

運動会



9月24日に、大社小学校の体育館をお借りして、運動会を行いました。今年もコロナ感染対策のため、クラス毎の開催となりました。練習も思うようにいかない日がありましたが、友だちと心をつなげて向かって頑張る姿に感動しました。当日はその成果を十分に発揮し、どの子にもたくさんの拍手が送られました。胸の金メダルもとても誇らしかったです。

ケアサポート相生

麦わら帽子のマグネット製作



8月16日～18日に、夏らしい麦わら帽子のマグネットを皆さんと創作しました。選んでいただいた糸を、丸い台紙にマグネットとペットボトルのキャップを乗せた台に巻き付けていくという、シンプルな作業ですが、意外に難しく、皆さん真剣な表情で取り組んでくださいました。糸巻に苦戦した方もおられましたが、リボンやお花で装飾すれば、華やかな素敵な麦わら帽子の完成です。

外出支援（ドライブ）



9月28日に、ケアサポート相生において、キララ多岐方面へドライブへ出かけました。皆さん、外出は久しぶりで、車の中は修学旅行のように笑顔が飛び交っていました。わくわく感に年齢は関係ありません。楽しい時間になりました。

ヴィラ湖水苑

うな井の日



7月19日に、うな井の日を設けました。食事のアンケートを取った時に、夏には鰻を出して欲しいという要望があり、昨年土用の丑の日の頃に「うな井」を提供しています。「夏の暑い時に鰻を食べると元気になるね」と、評判が高いです。

特別養護老人ホーム湖水苑

トリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校生（2年生）の施設実習



7月13日～8月1日に、トリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校の2年生（3名）が実習に来られました。7月20日には、ユニットでレクリエーションをして下さいました。魚釣りゲーム・点取りゲーム・輪投げゲーム等、たくさんの楽しいゲームを展開してくれました。コロナ禍で行事が少ない中、入居者様も大変盛り上がり、楽しいひと時を過ごす事が出来ました。ありがとうございました。

外出支援（お墓参り）



入居者様が、9月9日の通院の帰り道に、ご家族さんと待ち合わせをして、奥様のお墓参りに出かけられました。コロナウイルス感染症予防のため、ご家族さんとは遠目で対面していただき、近況をお話しされました。ご親戚さんやご近所さんも駆け付けて下さり、涙があふれてしまいました。コロナ禍で面会制限をさせていただき中、ご家族様にはご理解、ご協力いただき大変感謝申し上げます。

川柳会



9月16日に、毎月恒例の川柳会を行いました。川柳会が始まって3年が経ちます。入居者様がそれぞれ季節に合わせて句の内容を考えておられます。普段から、メモを持ち歩かれ、思いついた時に書き留めておられる姿もあり、参加される方の生活の一部となっています。

グループホーム湖水苑

認知症サポーター研修



7月13日に、出雲西高校普通科介護福祉コース3年生（24名）を対象に認知症サポート研修を開催しました。講義の中では、出雲西高校を卒業して湖水苑に就職している先輩から福祉の仕事をする中でアドバイスや経験談も交えながら、認知症についての理解を深めていただく事を目的に行いました。コロナ禍ではありますが、今後も地域に向けた認知症への理解を深めて頂ける取り組みを行っていきたくと思っています。

救命救急講習



7月29日に、介護職員を対象に救命救急講習を行いました。職員は、入居者様の命を預かって頂いており、突然の急変時には迅速・適切な対応で医療機関に繋げる事が求められるという意識をもって研修を行いました。また、研修では介護施設内で起こりうる状況等を検討しながら、AEDを使用した心肺蘇生法の訓練を行い技術と知識の向上を図ることが出来ました。

シイタケ栽培



9月7日に、原木からシイタケを栽培し収穫を行いました。毎日の水やりを通してシイタケの成長の早さに、入居者様・職員も驚かされました。シイタケの成長を眺めながら収穫後の楽しみであるシイタケ料理について皆さんで相談しておられる姿を見て、極々自然な日常の風景を見ることができとても微笑ましい光景でした。